

盛岡視覚支援学校

研究テーマ

「視覚障がい教育の専門性に基づく指導の充実」
(1年研究)

1 全校研究

(1) 研究目的

職員一人一人が、研修が必要だと考える視覚障がい教育の専門性について共同で学びあい、授業実践を通して日々の授業に生かすことにより、各々の専門性を高め、授業力の向上を図る。また、研究会を通して視覚障がい教育の専門性の共有化を図る。

(2) 研究内容・方法

視覚障がい教育の専門性向上のため、研修、研究が必要な分野ごとにグループを作る。グループ内共通の課題をサブテーマとして設定し、毎月グループ研を行う。グループ毎に授業研究会、研修会を実施する。課題や課題解決に向け共通理解を図り、より効果的な手立てや改善案を話し合い、協議を行う。

(3) 研究実践

グループは7グループ。それぞれのグループで研究を進めるほか、各グループが研究会、研修会を行いその中からそれぞれ2つ選んで参加した。(全員での参加ではなく、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から選択制で行っている。)

① 点字指導

点字指導の基本から、教科特有の点字について研修会を行い、資料をまとめた。

② 歩行指導

寄宿舎から近隣の商業施設までの歩行指導研修会、事例検討、マニュアルの作成を行った。

③ 触察の仕方に関する指導

触察の指導のあり方について考え、実際の指導に関する研究授業、研修会を行った。

④ ICTを活用した指導

一人一人の教育的ニーズに応じたICT活用の充実について研修会を行った。

⑤ 弱視指導

学習を支える支援器具や用具の取り扱い、活用の仕方、手立てについて考えた。

⑥ 理療科における指導

理療科におけるICTプログラムを知り、効果的

な活用方法について理解を深め研修を行った。

⑦ 寄宿舎における指導

個別のQOL計画を用いた指導の充実をテーマに、実践事例を報告し合い、協議を行った。

2 講演会(高教研講演会)

演題：触ることを楽しみ、触ることから学ぶ児童生徒を育てるための指導について
—児童生徒の「わかった」を増やすための配慮と教材作りの観点—

講師：全国高等学校長協会入試点訳事業部
専務理事 高村 明良 氏

期日：8月4日

参加者：64名(本校会場参加、オンライン参加)

3 校内研修

(1) 研修報告会

①オンラインで実施された全日盲研栃木大会について、分科会の一部の内容を短くまとめ報告した。

②外部研修会の内容を報告した。

(2) 全校研究の各グループによる研修会の実施

(例 点字研修会、大歩行研修会Ⅱ、触察の実際、拡大読書器の活用 等)

4 他の教育研究機関との連携

(1) 北東北3県盲ネットワーク関連

(すべてオンラインによる)

①寄宿舎指導員研修会(7月28日、秋田)

②理療科実技研修会 中止

③早期教育研修会(12月27日、本校主管)

④ロービジョン研修会(1月11日、青森)

(2) 全日本盲学校教育研究大会栃木大会

(7月28日～30日)

オンライン開催

(3) 東北盲学校教育研究大会岩手大会

東北・北海道理療科教育研究会

(11月11日・12日)

本校主管、オンライン開催

5 刊行物

研究集録としては刊行しないが、CDにまとめ、閲覧できるようにする。